



2023年3月期 第3四半期

(2022年4月1日 ~ 2022年12月31日)

決算説明資料

ENOMOTO Co.,Ltd.

東証プライム 証券コード:6928

- 売上高増加要因はパワー半導体用リードフレームの好調と、円安による外貨換算額の増加(約7%)
- 経常利益はスマートフォン向けコネクタの当期モデルの販売低調や汎用リードフレームの出荷増による製品ミックスの変動と、生産力増強に伴う減価償却費、人件費等の増加により3.5%減益

	2022/3期 3Q累計		2023/3期 3Q累計		期比較	
	実績 (百万円)	売上比 (%)	実績 (百万円)	売上比 (%)	前年同期比 (%)	売上比増減 (pt)
売上高	20,707	100.0	22,690	100.0	+9.6	-
売上総利益	3,427	16.6	3,404	15.0	△0.7	△1.5
販管費	1,792	8.7	1,889	8.3	+5.5	△0.3
営業利益	1,635	7.9	1,514	6.7	△7.4	△1.2
為替差益	15	0.1	57	0.3	262.3	0.2
経常利益	1,704	8.2	1,644	7.2	△3.5	△1.0
当期純利益	1,221	5.9	1,211	5.3	△0.8	△0.6

- ・ パワー半導体用リードフレームの好調や円安により、1Q・2Q・3Qとも増収
- ・ 3Qの営業利益は前年同期比で増益。2022年3月期4Qを底に回復。

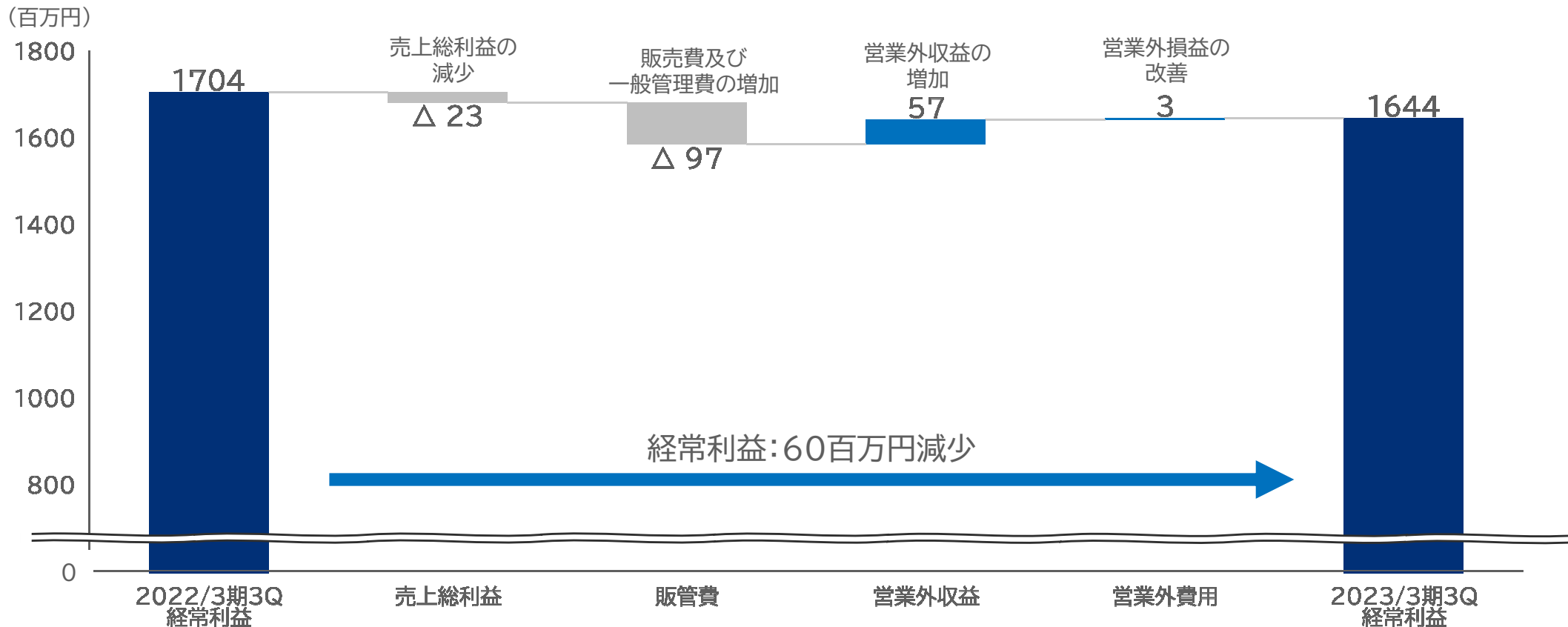
単位:百万円	2022/3期					2023/3期			
	1Q	2Q	3Q	4Q	通期	1Q	2Q	3Q	前同比
売上高	6,866	6,848	6,992	6,543	27,250	7,243	7,406	8,040	+15.0
売上総利益	1,196	1,086	1,143	1,035	4,462	1,155	1,017	1,231	+7.7
販管費	553	579	659	657	2,449	619	615	655	△0.7
営業利益	643	507	483	377	2,012	536	401	575	+19.0
為替差損益	△11	7	20	19	34	84	53	△80	-
経常利益	639	526	538	349	2,054	638	489	516	△4.0
四半期純利益	482	365	372	324	1,545	431	346	433	16.2

- ・ パワー半導体用リードフレームは、自動車や産業機器向けを中心に好調を継続
- ・ オプト用リードフレームは、中国経済の停滞影響などにより、交通インフラや自動車向けのLED需要は前期並み推移
- ・ コネクタ用部品は、ウェアラブル端末向け市場拡大の反面、スマートフォン向けは当期モデルの販売低調で低成長

単位:百万円	2022/3期						2023/3期				
	1Q	2Q	3Q	3Q 累計	4Q	通期	1Q	2Q	3Q	3Q 累計	前同比
パワー半導体用 リードフレーム	2,380	2,309	2,592	7,283	2,646	9,929	2,684	2,797	3,377	8,859	+21.6%
オプト用 リードフレーム	969	921	878	2,769	916	3,686	1,008	931	854	2,794	+0.9%
コネクタ用部品	3,320	3,440	3,353	10,115	2,840	12,955	3,408	3,496	3,627	10,533	+4.1%
その他	195	176	166	538	141	679	143	180	180	503	△6.5%
合計	6,866	6,848	6,992	20,707	6,543	27,250	7,243	7,406	8,040	22,690	+9.6%

※今年度より製品分類を一部変更し、「パワー半導体用リードフレーム」と「その他」の間で 数値の組み換えを行いました。前年度は組み換え後の数値を記載しております。

- ・ 売上総利益の減少 … 製品ミックスの変動と、生産力増強に伴う減価償却費、人件費等の増加
- ・ 販売費及び一般管理費の増加 … ① 売上高の増加に加え、物流価格・副資材価格の高騰等による経費の増加
② 賃上げによる人件費、開発費用の増加
- ・ 営業外利益の改善 … 円安による為替差益の増加



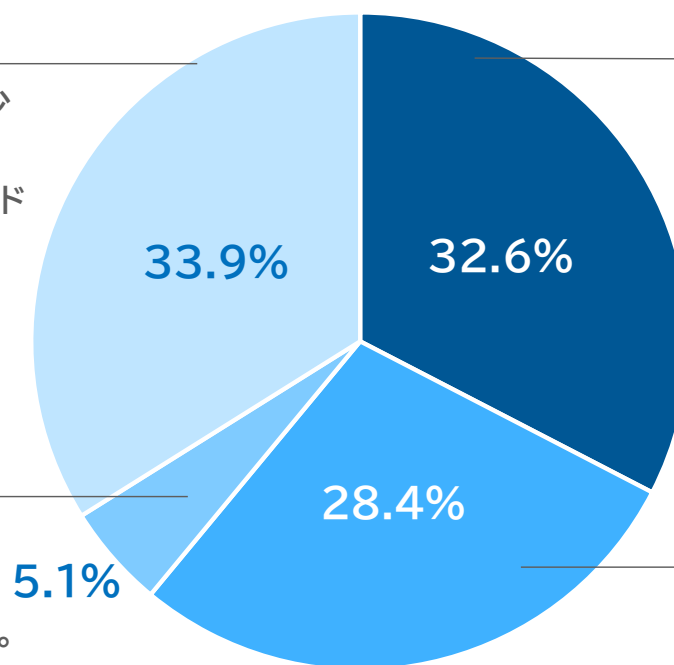
- ・ 車載向けはパワー半導体用リードフレームが好調
- ・ スマートフォン向けは当期モデルの販売低調、ウェアラブル市場は拡大傾向
- ・ 民生・産機・その他向けはデータセンター向け等のパワー半導体用リードフレームが好調、LED用は減速

民生・産機・その他

- ・ 構成比は前年同期の36.6%から 2.7pt減少
前年同期比6.4%減少
- ・ データセンターや5G向けパワー半導体用リードフレームは好調継続
- ・ 交通インフラ等のディスプレイ向けLED用リードフレームが減速

ウェアラブル

- ・ 構成比は前年同期の3.0%から 2.1pt増加
前年同期比73.0%増加
- ・ ワイヤレスイヤホンやウォッチ向けの需要拡大。



車載

- ・ 構成比は前年同期の30.5%から 2.1pt増加
前年同期比8.3%増加
- ・ xEV向けを中心にパワー半導体用リードフレームが好調
- ・ 自動車業界の生産調整影響により、エアバッグ用コネクタ等は減少

スマートフォン

- ・ 構成比は前年同期の29.9%から 1.5pt減少
前年同期比3.9%減少
- ・ 端末の販売低調による生産調整

※一部製品の用途別分類を変更しており、前年同期を組み替えて表示しています。

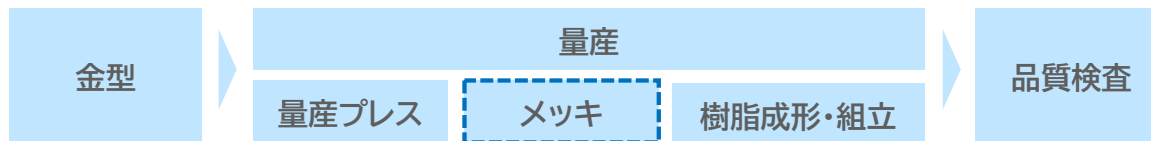
※5月10日発表の予想を修正

- 売上高はパワー半導体向けリードフレームの牽引と、円安による外貨売上の円換算額増加により295億円を予想
- 中国経済減速等によるスマートフォンの当期モデル販売不振から、高付加価値な微細コネクタの出荷予測数減少
- エネルギーコストや副資材の想定を上回る高騰
- 営業利益は前期比減益だが、為替差益や実効税率低下で当期純利益は増益を維持

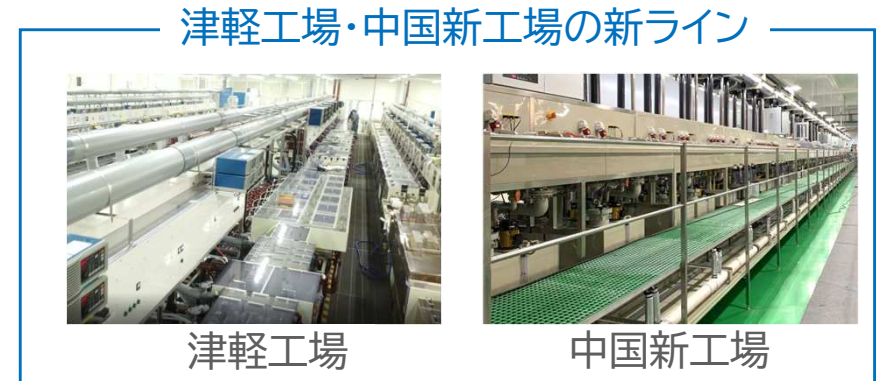
	2022/3期			2023/3期				期比較	
	上期実績 (百万円)	通期実績 (百万円)	売上比 (%)	上期実績 (百万円)	5月10日 予想数値 (百万円)	修正予想 (百万円)	売上比 (%)	前期比 (%)	売上比増減 (pt)
売上高	13,714	27,250	100.0	14,650	28,600	29,400	100.0	+7.9	-
売上総利益	2,283	4,462	16.4	2,173	4,650	4,400	15.0	△1.4	△1.4
販管費	1,132	2,449	9.0	1,234	2,450	2,600	8.8	+6.2	△0.2
営業利益	1,151	2,012	7.4	938	2,200	1,800	6.1	△10.6	△1.3
経常利益	1,166	2,054	7.5	1,127	2,200	2,000	6.8	△2.6	△0.7
当期純利益	848	1,545	5.7	778	1,650	1,600	5.4	+3.5	△0.3
1株当たり 純利益		230.5円	-		247.4円	239.6円	-	-	-

1. 中長期的な市場拡大に向けた積極投資 … メッキの内製化による収益力の向上

一貫生産体制強化のため、メッキ加工の内製化を進め、コネクタやリードフレームで付加価値向上を図る



製造の全工程がほぼ内製化。さらなる付加価値の強化を目指す



- 津軽工場で1ライン、中国新工場で4ラインの新設。2023年より、逐次本格量産を開始
- 2023年1月より表面処理プロジェクト室を新設し、メッキ組織を強化

2. 省力化に向けた取組み … 津軽工場のスマートファクトリー化

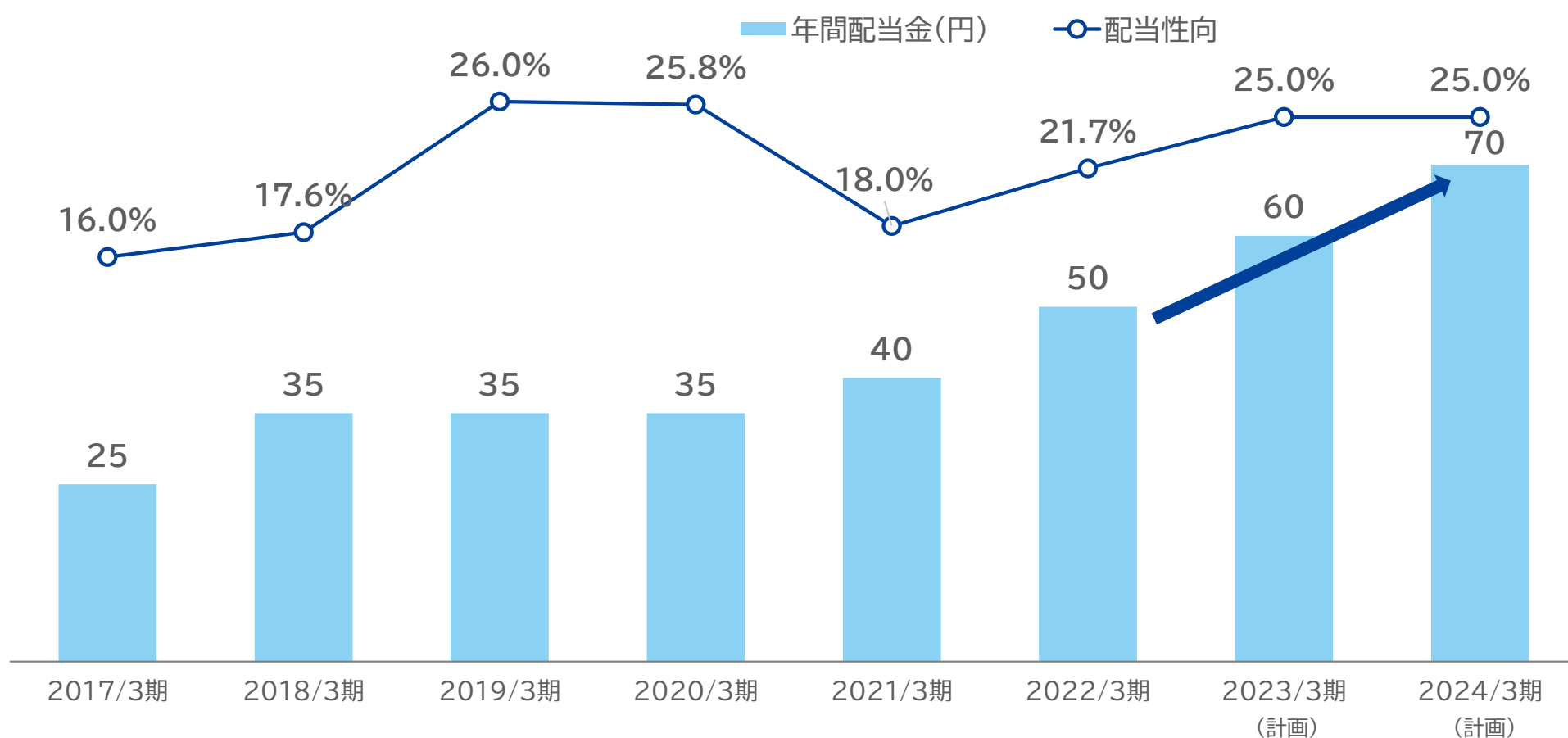


- 作業の自動化・効率化に向けて自動倉庫・AGV(無人搬送車)を導入
- モデル工場として実績を分析し他拠点への展開を図る
- 2022年4月より新ERPシステム稼働。ビッグデータ構築と、AI活用による生産効率向上・経営判断の迅速化を図る

※5月10日発表の配当予想を継続

- ビジョン2030 1st STEPでは、津軽工場への投資等もあり、配当性向25%を目途に安定配当を継続
- 配当予想は2023年3月期は60円、中計最終年度の24年3月期は70円の計画

配当金・配当性向の推移



- ・ 円安により在外子会社の円換算額が総資産を押し上げ、為替換算調整勘定21億円増加
- ・ 原材料供給の正常化により棚卸資産は増加

単位:百万円	2022/3期末	2023/3期3Q末	前年期末差
流動資産	17,006	20,415	+3,409
（内、現預金）	4,365	4,273	△91
（内、受取手形及び 売掛金及び契約資産）	7,790	10,070	+2,280
（内、棚卸資産）	4,366	5,596	+1,230
固定資産	13,167	15,337	+2,169
（内、有形固定資産）	11,861	13,747	+1,885
総資産	30,174	35,753	+5,579
負債	11,545	14,202	+2,657
（内、有利子負債）	2,150	2,663	+513
純資産	18,628	21,550	+2,922
負債純資産	30,174	35,753	+5,579

注意事項

事業の展望、業績予想等の将来の動向にかかる記載につきましては、歴史的事実ではないため、不確定な要素を含んでおります。

現在入手可能な情報に基づいて作成したものであり、実際の業績は、今後の様々な要因により予想と異なる結果となる可能性があることをご了承願います。